

教育委員会会議 定例会

令和2年5月25日

提出議案綴

山梨県教育委員会

1 議 案

- 第 7 号 令和3年度山梨県立特別支援学校幼稚部及び高等部入学者選抜の基本事項について

2 報 告 事 項

- 第 1 号 令和2年度公立高等学校入学者選抜学力検査結果について
- 第 2 号 令和2年度公立高等学校入学者選抜学力検査結果活用ガイドについて

3 その他報告

- 第 3 号 令和3年度山梨県公立高等学校入学者選抜における前期募集選抜方法について

議案第 7 号

令和3年度山梨県立特別支援学校幼稚部及び高等部入学者選抜の基本事項について

提案理由

令和3年度山梨県立特別支援学校幼稚部及び高等部入学者選抜の実施にあたり、あらかじめ基本事項を定め、公告する必要がある。これが、この議題を提出する理由である。

件名	令和3年度山梨県立特別支援学校幼稚部及び高等部入学者選抜の基本事項について
経緯	○令和2年3月から4月 令和2年度山梨県立特別支援学校高等部入学者選抜実施に係る課題及び対応策について、各特別支援学校からの意見集約
内容	<p>1 令和3年度山梨県立特別支援学校幼稚部及び高等部入学者選抜の基本事項を別紙のとおり定め、実施したい。</p> <p>2 令和3年度の基本事項について</p> <p>(1) 幼稚部について 盲学校及びろう学校において入学検査を実施する。また、入学検査の結果、入学許可予定者が募集定員に満たない場合は、再募集を実施する。</p> <p>(2) 高等部本科について 高等部を設置する特別支援学校9校において、入学検査を実施する。また、盲学校、ろう学校、甲府支援学校、あけぼの支援学校の単一障害、やまびこ支援学校、ふじざくら支援学校の肢体単一障害及び高等支援学校桃花台学園において、再募集を実施する。(桃花台学園は入学許可予定者が募集定員に満たない場合のみ実施)</p> <p>(3) 高等部専攻科について 盲学校において入学検査を実施する。また、入学検査の結果、入学許可予定者が募集定員に満たない場合は、再募集を実施する。</p> <p>※基本事項に係る実施方法について、昨年度からの主な変更点は特になし。</p> <p>3 入試の詳細について 10月に発表する「令和3年度山梨県立盲学校・ろう学校幼稚部入学者選抜実施要項」、「令和3年度山梨県立特別支援学校高等部入学者選抜実施要項」及び「令和3年度山梨県立盲学校高等部専攻科入学者選抜実施要項」で定める。</p>

公告

令和3年度山梨県立特別支援学校幼稚部及び高等部入学者選抜の基本事項について

山梨県教育委員会

1 募集定員

各特別支援学校の募集定員は、別に定める。

2 出願資格

保護者とともに山梨県内に住所を有する者で、次の各学校の要件に該当する者とする。

学校名	募集区分		要件
盲学校	幼稚部		(1) 幼稚部 学校教育法施行令(以下「施行令」という。)第22条の3の規定による視覚障害者で、令和3年4月1日現在において満3歳以上6歳未満の者
	高等部	本科普通科 本科保健医療科 専攻科保健医療科 専攻科理療科	(2) 高等部本科 施行令第22条の3に規定する視覚障害者で、次の各号のいずれかに該当する者 ① 視覚障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の中学部を卒業した者又は令和3年3月に卒業見込みの者 ② 中学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校を卒業した者若しくは令和3年3月に卒業見込みの者又は中等教育学校の前期課程を修了した者若しくは同月に修了見込みの者(以下「中学校卒業見込者等」という。) ③ 盲学校長が、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者 (3) 高等部専攻科 施行令第22条の3の規定による視覚障害者で、次の各号のいずれかに該当する者 ① 盲学校高等部本科若しくは高等学校若しくはこれに準ずる学校若しくは中等教育学校(以下「高等学校等」という。)を卒業した者又は令和3年3月卒業見込みの者 ② 盲学校長が、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
ろう学校	幼稚部		(1) 幼稚部 施行令第22条の3の規定による聴覚障害者で、令和3年4月1日現在において満3歳以上6歳未満の者
	高等部	本科普通科	(2) 高等部 施行令第22条の3に規定する聴覚障害者で、次の各号のいずれかに該当する者 ① 聴覚障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の中学部を卒業した者又は令和3年3月に卒業見込みの者 ② 中学校卒業見込者等 ③ ろう学校長が、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
甲府支援学校	高等部	本科普通科	施行令第22条の3に規定する肢体不自由者で、次の各号のいずれかに該当する者 ① 肢体不自由者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の中学部を卒業した者又は令和3年3月に卒業見込みの者 ② 中学校卒業見込者等 ③ 志願先特別支援学校長が、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
あけぼの支援学校	高等部	本科普通科	

学校名	募集区分		要件
わかば支援学校	高等部	本科普通科	施行令第22条の3に規定する知的障害者で、次の各号のいずれかに該当する者 ① 知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の中学部を卒業した者又は令和3年3月に卒業見込みの者 ② 中学校卒業見込者等 ③ 志願先特別支援学校長が、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
かえで支援学校	高等部	本科普通科	
やまびこ支援学校	高等部	本科普通科	施行令第22条の3に規定する知的障害者又は肢体不自由者で、次の各号のいずれかに該当する者 ① 知的障害者又は肢体不自由者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の中学部を卒業した者又は令和3年3月に卒業見込みの者 ② 中学校卒業見込者等 ③ 志願先特別支援学校長が、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
ふじざくら支援学校	高等部	本科普通科	
高等支援学校桃花台学園	高等部	本科産業技術科	施行令第22条の3に規定する知的障害者で、次の(1)から(3)の全てに該当する者 (1) 次のいずれかの条件を満たす者 ① 知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の中学部を卒業した者又は令和3年3月に卒業見込みの者 ② 中学校卒業見込者等 ③ 高等支援学校桃花台学園校長が、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者 (2) 知的障害の程度が比較的軽い者で、施行令第22条の3に規定する知的障害以外の障害を併せ有していない者 (3) 基本的な生活習慣を身につけており、自主通学のできる者

3 出願、入学検査及び選抜方法

(1) 高等支援学校桃花台学園（以下「桃花台学園」という。）

① 出願

ア 出願の制限

(ア) 高等学校全日制の課程における前期募集と併願することはできない。

(イ) 志願者は、桃花台学園の教育相談を、令和2年12月28日(月)までに受けておくこと。

イ 出願期間

令和3年1月15日(金) (一括受付)、1月18日(月)の午前9時から午後4時まで及び1月19日(火)の午前9時から正午まで

ウ 出願書類

(ア) 入学願書

(イ) 志願理由書

(ウ) 確約書

(エ) 調査書

(オ) 住民票の写し

本人及び保護者に関するもので、令和2年12月以降発行のもの

(カ) 健康診断票

医療機関が発行したもの(桃花台学園校長が指定する様式による。)で、令和2年12月以降に受診したもの

- (キ) 山梨県総合教育センター相談支援部が令和2年4月以降に発行した施行令第22条の3に規定する知的障害者であることを証明する「教育相談における所見」(すでに出願時に有効な療育手帳を取得している場合は、その写しにより所見に替えることができる。ただし、県立特別支援学校中学部を令和3年3月卒業見込みの知的障害を主障害とする者は、所見の提出は不要とする。)

② 入学検査

- ア 期日
令和3年1月28日(木)
- イ 会場
桃花台学園
- ウ 入学検査の内容
学力検査、作業能力検査及び面接

③ 追検査

- ア 対象者
インフルエンザ等の感染症等不慮のやむを得ない事情により、入学検査を欠席した者
- イ 期日
令和3年2月2日(火)
- ウ 会場
桃花台学園
- エ 追検査の内容
「3 (1) ② ウ 入学検査の内容」に準じる。

④ 選抜方法

桃花台学園校長は、出願書類及び入学検査又は追検査の結果を資料として総合判定し、選抜する。

- (2) 盲学校、ろう学校、甲府支援学校、あけぼの支援学校、わかば支援学校、かえで支援学校、やまびこ支援学校及びふじざくら支援学校

① 出願

- ア 出願の制限
出願は、「山梨県立特別支援学校通学区域等に関する規則」に定める通学区域の学校とする。
- イ 出願期間
令和3年2月8日(月)から2月10日(水)、12日(金)の午前9時から午後4時まで及び2月15日(月)の午前9時から正午まで
- ウ 出願書類
- (ア) 全校共通
- a 入学願書
- b 調査書(幼稚部は除く)
- c 住民票の写し
本人及び保護者に関するもので、令和3年1月以降発行のもの
- d 健康診断票
医療機関が発行したもの(志願先特別支援学校長が様式を指定する場合は、当該様式による。)で、令和3年1月以降に受診したもの(志願先特別支援学校の中学部を令和3年3月卒業見込みの者を除く。)
ただし、あけぼの医療福祉センターで加療中の肢体不自由者が、あけぼの支援学校を受検する場合の健康診断票は、同センター整形外科医発行のものとする。
- (イ) 学校ごとに必要な書類(志願先特別支援学校の中学部を令和3年3月卒業見込みの者を除く。)

学校名	学校ごとに必要な書類
盲学校	令和3年1月以降に受診した眼科医発行の健康診断票 (幼稚園においては、身体障害者手帳の写しに替えることも可)
ろう学校	令和3年1月以降に受診した耳鼻咽喉科医発行の健康診断票 (幼稚園においては、身体障害者手帳の写しに替えることも可)
甲府支援学校	令和3年1月以降に受診した整形外科医発行の健康診断票
あけぼの支援学校	令和3年1月以降に受診した整形外科医発行の健康診断票 (あけぼの医療福祉センターで治療を受けていない者)
わかば支援学校	山梨県総合教育センター相談支援部が令和2年4月以降に発行した施行令第22条の3に規定する知的障害者であることを証明する「教育相談における所見」(すでに出席時に有効な療育手帳を取得している場合は、その写しに替えることも可)
かえで支援学校	
やまびこ支援学校	(肢体不自由者) 令和3年1月以降に受診した整形外科医発行の健康診断票
ふじざくら支援学校	(知的障害者) 山梨県総合教育センター相談支援部が令和2年4月以降に発行した施行令第22条の3に規定する知的障害者であることを証明する「教育相談における所見」(すでに出席時に有効な療育手帳を取得している場合は、その写しに替えることも可)

エ 出願上の留意事項

志願者は、令和2年12月28日(月)までに、志願先特別支援学校の教育相談を予め受けるものとする。(志願先特別支援学校の中学部を令和3年3月卒業見込みの者を除く。)

② 入学検査

ア 期日

令和3年3月3日(水)

イ 会場

各志願先特別支援学校

ウ 入学検査の内容

学校名	募集区分	検査内容	
盲学校	幼稚園	・実態を把握するための検査	
	高等部	本科普通科	・学力検査 ・面接
		本科保健医療科 専攻科保健医療科 専攻科理療科	・学力検査 ・面接 ・機能検査
ろう学校	幼稚園	・実態を把握するための検査	
	高等部	本科普通科	・学力検査 ・面接

学校名	募集区分		検査内容
甲府支援学校	高等部	本科普通科	<ul style="list-style-type: none"> ・学力検査 ・面接 ・生活動作検査
あけぼの支援学校			
わかば支援学校			
やまびこ支援学校			
ふじざくら支援学校			
かえで支援学校			

※ 盲学校高等部本科保健理療科及び、専攻科（保健理療科、理療科）以外の学校及び募集区分においては、志願者の障害及び健康状態に応じて検査内容を変更又は一部免除することがある。

③ 追検査

ア 対象者

盲学校高等部本科保健理療科及び、専攻科（保健理療科、理療科）における入学者選抜の入学検査志願者のうち、インフルエンザ等の感染症等不慮のやむを得ない事情により、入学検査を欠席した者

イ 期日

令和3年3月8日（月）

ウ 会場

盲学校

エ 追検査の内容

「3（2）② ウ 入学検査の内容」に準じる。

④ 選抜方法

志願先特別支援学校長は、出願書類及び入学検査の結果を資料として総合判定し、選抜する。

4 入学許可予定者の発表

(1) 桃花台学園

令和3年2月5日（金）

なお、桃花台学園の入学許可予定者は、高等学校全日制課程における後期募集、定時制の課程、通信制の課程及び特別支援学校高等部入学者選抜検査に出願することはできない。

(2) 盲学校、ろう学校、甲府支援学校、あけぼの支援学校、わかば支援学校、かえで支援学校、やまびこ支援学校及びふじざくら支援学校

令和3年3月12日（金）

5 再募集

盲学校幼稚部・高等部（本科普通科、本科保健理療科、専攻科保健理療科、専攻科理療科）、ろう学校幼稚部・高等部、甲府支援学校、あけぼの支援学校、やまびこ支援学校及びふじざくら支援学校の高等部並びに桃花台学園において、再募集を実施する。

なお、盲学校幼稚部・高等部専攻科（保健理療科、理療科）、ろう学校幼稚部及び桃花台学園においては、入学許可予定者が募集定員に満たない場合に限り実施する。

(1) 盲学校幼稚部・高等部（本科普通科、本科保健理療科、専攻科保健理療科、専攻科理療科）、ろう学校幼稚部・高等部、甲府支援学校、あけぼの支援学校、やまびこ支援学校及びふじざくら支援学校の高等部

① 出願資格

ア 盲学校幼稚部・高等部専攻科（保健理療科、理療科）及びろう学校幼稚部

「2 出願資格」による。

イ 高等部（盲学校専攻科を除く）

(ア) 「2 出願資格」に該当する各特別支援学校の当該障害種別（やまびこ支援学校及びふじざくら支援学校においては、肢体不自由のみ）の単一障害者

(イ) 県内公・私立高等学校を受検し、出願時に、いずれの高等学校及び特別支援学校にも合格していない者

② 出願の制限（高等部）

公立高等学校全日制の課程における再募集との併願はできない。

③ 出願期間

令和3年3月15日(月)の午前9時から午後4時まで及び3月16日(火)の午前9時から正午まで

④ 入学検査の内容

志願先特別支援学校長が別途定める。

⑤ 検査期日

令和3年3月17日(水)

⑥ 入学許可予定者の発表

令和3年3月19日(金)

⑦ 出願上の留意事項

志願者は、令和2年12月28日(月)までに、志願先特別支援学校の教育相談を予め受けるものとする。(志願先特別支援学校の中学部を令和3年3月卒業見込みの者を除く。)

(2) 桃花台学園

① 出願資格

ア 「2 出願資格」による。

イ 県内公・私立高等学校を受検し、出願時に、いずれの高等学校及び特別支援学校にも合格していない者

② 出願の制限

ア 公立高等学校全日制課程の再募集と併願することはできない。

イ 志願者は、桃花台学園の教育相談を、令和2年12月28日(月)までに受けておくこと。

③ 出願期間

令和3年3月15日(月)の午前9時から午後4時まで及び3月16日(火)の午前9時から正午まで

④ 入学検査の内容

桃花台学園校長が別途定める。

⑤ 検査期日

令和3年3月17日(水)

⑥ 入学許可予定者の発表

令和3年3月19日(金)

6 実施要項

詳細については、別に定める「令和3年度山梨県立盲学校・ろう学校幼稚部入学者選抜実施要項」、「令和3年度山梨県立特別支援学校高等部入学者選抜実施要項」及び「令和3年度山梨県立盲学校高等部専攻科入学者選抜実施要項」による。

令和3年度 県立特別支援学校幼稚部及び高等部入学者選抜日程

令和3年 1月		令和3年 2月		令和3年 3月	
1	金	1	月	1	月
2	土	2	火	2	火
3	日	3	水	3	水
4	月	4	木	4	木
5	火	5	金	5	金
6	水	6	土	6	土
7	木	7	日	7	日
8	金	8	月	8	月
9	土	9	火	9	火
10	日	10	水	10	水
11	月	11	木	11	木
12	火	12	金	12	金
13	水	13	土	13	土
14	木	14	日	14	日
15	金	15	月	15	月
16	土	16	火	16	火
17	日	17	水	17	水
18	月	18	木	18	木
19	火	19	金	19	金
20	水	20	土	20	土
21	木	21	日	21	日
22	金	22	月	22	月
23	土	23	火	23	火
24	日	24	水	24	水
25	月	25	木	25	木
26	火	26	金	26	金
27	水	27	土	27	土
28	木	28	日	28	日
29	金			29	月
30	土			30	火
31	日			31	水

※志願者は、令和2年12月28日（月）までに、志願先特別支援学校の教育相談を予め受けるものとする。
 （志願先の特別支援学校の中学部を令和3年3月卒業見込みの者を除く。）

令和2年5月25日

課・室名

高校教育課

件名

令和2年度公立高等学校入学者選抜学力検査結果について

○実施期日及び教科

令和2年3月4日(火) 国語, 社会, 数学, 英語, 理科の5教科

○総合得点の調査結果概要 《学力検査結果活用ガイド p1~2》

総合平均点の推移

	R2年度	H31年度	H30年度	H29年度	H28年度
平均点	270.9	276.6	271.5	283.4	250.5

○調査対象

全日制高等学校全教科受検者

全教科受検者数 全日制 3,899人 (H31 4,106人)

男子 1,975人 (H31 2,153人) 女子 1,924人 (H31 1,953人)

○教科別調査結果の概要 《学力検査結果活用ガイド p3~22》

(1) 国語：平均点 56.0 (H31 59.4)

常用漢字の読み書き, 文章内容の読み取りなど, 基礎的・基本的な知識や事項は概ね定着している。一方, それらを活用したり, 自分でまとめ直して説明したりすること, また複数の文章や情報を活用し, 内容を深く理解して考えを表現することに課題が見られる。

(2) 社会：平均点 52.6 (H31 53.9)

基礎的・基本的な知識については概ね定着が見られるが, 図やグラフなどの複数の資料を読み取り判断することや, 読み取った内容を自分のことばで適切に表現することなどには課題が見られる。また, 時事的な出来事や身近な問題などに興味を持ち, 掘り下げて考え, 解を求めていく力の育成も, 今後さらに望まれる。

(3) 数学：平均点 53.9 (H31 55.6)

基礎的・基本的な知識や技能については, 概ね定着している。しかし, 予想が正しくないことを説明するために反例を示すことや, 事柄が成り立つために必要な条件を記述すること, 複数の領域にわたって総合的に考えることには課題が見られる。

(4) 理科：平均点 49.2 (H31 51.5)

基礎的・基本的な知識や技能を問う問題については, 概ね正答率は高く, 学習内容の定着がなされているといえる。一方, 必要な情報を読み取り, 学んだ知識を活用しながら法則性を見いだして正答を導く問題は正答率が低く, 課題が見られる。

(5) 英語：平均点 59.2 (H31 56.2)

聞く力と読む力を測る設問において, 明示的・直接的な情報に関する問題については, 昨年と同様良好な正答率であった。一方で, 聞いたり, 読んだりして得た情報を基に対比したり, 類推したりして正答を導く問題の正答率が低いことから, 既習の知識を基に, 視点を変えて自分の言葉で表現する力の育成に課題が見られる。

担当：高校教育課 指導担当 田中 雅明
電話番号 055-223-1766 内線 8337

令和2年5月25日

課・室名

高校教育課

件名

令和2年度公立高等学校入学者選抜学力検査結果活用ガイドについて

○概要 《学力検査結果活用ガイド p1》

・調査の目的と概要

令和2年度公立高等学校入学者選抜のために実施した学力検査結果の調査・分析を通して、本県公立高等学校志願者の学力の実態を把握し、本県中学校及び高等学校の教科教育を充実させるための資料とする。

・調査対象者

全教科受検者 全日制 3,899人 (H31 4,106人)

男子 1,975人 (H31 2,153人) 女子 1,924人 (H31 1,953人)

※正答率調査は、無作為に抽出した392人 (H31 411人) に対して実施

○学力検査結果活用ガイドの利用について

- ・「学力検査結果活用ガイド」は県のホームページにて公開し、校長会や各教育事務所をとおして、有効活用について周知している。
- ・教務主任連絡会議では、「活用ガイド」の組織的な利用について指導・助言をしている。
- ・各教科の指導主事は指導主事研修会等において、「活用ガイド」を基礎資料として利用し、本県の現状と課題を共有し、今後の方針や授業改善の具体案等について、教育課程研究協議会、県学力把握調査結果発表会などで、指導・助言を行っている。

○各中学校での具体的な活用について

- ・進路学習の際の基礎資料として生徒に提示することにより、意識の向上を図るとともに学級懇談会などで保護者に提示している。
- ・「1. 出題のねらい」により、どのような力が求められているのかが把握できるので、授業構想や教材づくりの際の判断材料として利用している。
- ・「2. 得点別に見た度数分布」や「3. 平均点の推移」において、生徒の開示データをオーバーラップさせることを続けることで、自校の相対的な位置関係や経年的な特徴を捉えることができる。
- ・「4. 大問別の内容と調査結果の分析」、「5. 指導の改善の視点」を用いて、大問別、技能別の分析結果を把握し、授業改善のポイントを絞り込むことができる。

○各高校での具体的な活用について

- ・校内研修会や職員会議、学年会議等で「授業改善」や「育てたい力の育成」を精査するとき活用している。
- ・各教科の指導主事訪問や教科会議で、自校の生徒の分析に利用する。特に、正答率の低い問題に着目して、各教科・学年に応じた課題を設定し、課題解決のロードマップを描くために活用している。
- ・教務係や進路指導係、総合的な探究の時間担当係などが、活用ガイドで指摘された課題を踏まえ、教科横断的なカリキュラムを作成する際に活用できる。

○今後の予定

- ・5月25日(月) 教育委員会報告、記者発表(報道機関へ配布)
 - ・5月25日(月) 県下全中学校、各市町村(組合)教育委員会へ送付
 - ・6月2日(火) 高等学校校長会にて、高等学校、特別支援学校へ配布
- ※教育委員会内は総務、義務、保体、生涯、改革へ配布(5/25)

・県ホームページにて公開 [トップ](#)
[教育・子育て](#)>[高等学校](#)>[入試情報](#)

担当：高校教育課 指導担当 田中 雅明
 電話番号 055-223-1766 内線 8337

(令和3年5月25日 定例教育委員会)

課室名 高校改革・特別支援教育課

件名

令和3年度山梨県公立高等学校入学者選抜における前期募集選抜方法について
(甲陵高等学校を除く全日制課程)

経緯

- 平成10年度入学者選抜から、全日制課程の全ての県立高等学校で推薦入試(学校推薦)を実施。
- 平成19年度入学者選抜から、「学校推薦」に代わって、希望する誰もが受検できる「自己推薦」を導入し、前期募集として実施。
- 平成27年度入学者選抜の前期募集より特色適性検査を導入。
- 令和2年5月13日、定例教育委員会で令和3年度山梨県公立高等学校入学者選抜の基本事項を決定。

内容

- 前期募集の概要
 - 1 募集定員に対する募集率
募集定員のうち、次の(1)から(4)の中から各高等学校長が決定した比率を基に定める。

(1) 普通科(コースを指定する場合を含む。)	募集定員の40%以内
(2) 専門教育学科	募集定員の40%以内
(3) 職業に関する学科	募集定員の50%以内
(4) 総合学科	募集定員の50%以内
 - 2 検査方法について
面接のほか、各高等学校長が必要と認める場合は、特色適性検査、特技、個性表現、のいずれか(複数可)を併せて実施する。

学 科	特色適性検査		特 技		個性表現	
	実施校	実施学科	実施校	実施学科	実施校	実施学科
普 通 科 【全18校】	18 (18)	18 (18)	18 (18)	18 (18)	1 (1)	1 (1)
専 門 教 育 学 科 【全5校】	5 (5)	5 (5)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	0 (0)
職業に関する学科 【全8校 全19学科】	8 (8)	19 (19)	7 (7)	14 (14)	3 (3)	8 (8)
総 合 学 科 【全6校】	6 (6)	6 (6)	6 (6)	6 (6)	1 (1)	1 (1)

※()内は昨年度実績値。昨年度からの変更なし。
※一括募集は1学科としてカウント。

- 3 選抜方法について
当該高等学校長が定める「選抜資料比重」に基づき、調査書、面接、所見、特色適性検査、特技及び個性表現の成績を総合判定して行う。

- 詳細については、別添のとおり。

令和3年度前期募集選抜方法等について

区 分	令和3年度の内容	備 考												
募集率	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">普通科</td> <td style="width: 33%;">40%以内</td> <td style="width: 33%;">専門教育学科</td> <td style="width: 33%;">40%以内</td> </tr> <tr> <td>職業に関する学科</td> <td>50%以内</td> <td>総合学科</td> <td>50%以内</td> </tr> </table> </div> <p>普通科 18校《40%2校、35%1校、30%9校、20%3校 10%3校》 専門教育学科 5校《30%3校、25%1校、15%1校》 職業に関する学科 8校《50%4校、40%1校、35%2校、30%1校》 総合学科 6校《50%2校、40%2校、35%1校、20%1校》</p>	普通科	40%以内	専門教育学科	40%以内	職業に関する学科	50%以内	総合学科	50%以内	【募集率】 $\frac{\text{前期募集人員}}{\text{全定員}} \times 100$				
普通科	40%以内	専門教育学科	40%以内											
職業に関する学科	50%以内	総合学科	50%以内											
検査方法	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 面接のほか、各高等学校長が必要と認める場合は、特色適性検査、特技、個性表現のいずれか（複数可）を併せて実施する。 </div> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">面接</td> <td> <input type="radio"/> 個別のみ 22校 <input type="radio"/> 集団のみ 2校《北杜、甲府工業》 <input type="radio"/> 個別または集団 2校《甲府西、甲府南》 </td> </tr> <tr> <td>特色適性検査</td> <td>26校が実施（26校）</td> </tr> <tr> <td>特技</td> <td>25校が実施（25校） 実施しない学校 1校《甲府工業》</td> </tr> <tr> <td>個性表現</td> <td>4校が実施（4校） 実施する学校《北杜、韮崎工業、甲府工業、甲府商業》</td> </tr> </table>	面接	<input type="radio"/> 個別のみ 22校 <input type="radio"/> 集団のみ 2校《北杜、甲府工業》 <input type="radio"/> 個別または集団 2校《甲府西、甲府南》	特色適性検査	26校が実施（26校）	特技	25校が実施（25校） 実施しない学校 1校《甲府工業》	個性表現	4校が実施（4校） 実施する学校《北杜、韮崎工業、甲府工業、甲府商業》	学校ごとに求める生徒像に沿って特色ある選抜方法を工夫し、実施している。 （ ）は令和2年度入試実績				
面接	<input type="radio"/> 個別のみ 22校 <input type="radio"/> 集団のみ 2校《北杜、甲府工業》 <input type="radio"/> 個別または集団 2校《甲府西、甲府南》													
特色適性検査	26校が実施（26校）													
特技	25校が実施（25校） 実施しない学校 1校《甲府工業》													
個性表現	4校が実施（4校） 実施する学校《北杜、韮崎工業、甲府工業、甲府商業》													
選抜資料比重	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【選抜資料比重】 選抜に当たって、各校が定める判定項目の採点比重 </div> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">調査書</td> <td> <input type="radio"/> 最高60%：山梨、都留、富士北稜 <input type="radio"/> 最低20%：農林 </td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td> <input type="radio"/> 最高30%：北杜、韮崎工業、甲府東、農林 <input type="radio"/> 最低5%：甲府南(理) </td> </tr> <tr> <td>所見</td> <td> <input type="radio"/> 最高10%：甲府工業、甲府城西、農林、巨摩、身延、塩山、都留興譲館、富士河口湖 <input type="radio"/> 最低5%：北杜、韮崎、韮崎工業、甲府第一、甲府西、甲府南、甲府東、甲府昭和、白根、青洲、笛吹、日川、山梨、都留、上野原、吉田、富士北稜、甲府商業 </td> </tr> <tr> <td>特色適性検査</td> <td> <input type="radio"/> 最高50%：吉田(理) <input type="radio"/> 最低5%：都留 </td> </tr> <tr> <td>特技</td> <td> <input type="radio"/> 最高40%：甲府西、日川 <input type="radio"/> 最低10%：甲府南(理)、富士北稜 </td> </tr> <tr> <td>個性表現</td> <td> <input type="radio"/> 最高20%：北杜、韮崎工業、甲府工業 <input type="radio"/> 最低15%：甲府商業 </td> </tr> </table>	調査書	<input type="radio"/> 最高60%：山梨、都留、富士北稜 <input type="radio"/> 最低20%：農林	面接	<input type="radio"/> 最高30%：北杜、韮崎工業、甲府東、農林 <input type="radio"/> 最低5%：甲府南(理)	所見	<input type="radio"/> 最高10%：甲府工業、甲府城西、農林、巨摩、身延、塩山、都留興譲館、富士河口湖 <input type="radio"/> 最低5%：北杜、韮崎、韮崎工業、甲府第一、甲府西、甲府南、甲府東、甲府昭和、白根、青洲、笛吹、日川、山梨、都留、上野原、吉田、富士北稜、甲府商業	特色適性検査	<input type="radio"/> 最高50%：吉田(理) <input type="radio"/> 最低5%：都留	特技	<input type="radio"/> 最高40%：甲府西、日川 <input type="radio"/> 最低10%：甲府南(理)、富士北稜	個性表現	<input type="radio"/> 最高20%：北杜、韮崎工業、甲府工業 <input type="radio"/> 最低15%：甲府商業	
調査書	<input type="radio"/> 最高60%：山梨、都留、富士北稜 <input type="radio"/> 最低20%：農林													
面接	<input type="radio"/> 最高30%：北杜、韮崎工業、甲府東、農林 <input type="radio"/> 最低5%：甲府南(理)													
所見	<input type="radio"/> 最高10%：甲府工業、甲府城西、農林、巨摩、身延、塩山、都留興譲館、富士河口湖 <input type="radio"/> 最低5%：北杜、韮崎、韮崎工業、甲府第一、甲府西、甲府南、甲府東、甲府昭和、白根、青洲、笛吹、日川、山梨、都留、上野原、吉田、富士北稜、甲府商業													
特色適性検査	<input type="radio"/> 最高50%：吉田(理) <input type="radio"/> 最低5%：都留													
特技	<input type="radio"/> 最高40%：甲府西、日川 <input type="radio"/> 最低10%：甲府南(理)、富士北稜													
個性表現	<input type="radio"/> 最高20%：北杜、韮崎工業、甲府工業 <input type="radio"/> 最低15%：甲府商業													
調査書（学習の記録）の扱い	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">評定</td> <td> <input type="radio"/> 評定に傾斜を付ける学校 16校 北杜、韮崎、韮崎工業、甲府第一、甲府西、甲府南、甲府東、甲府工業、甲府城西、巨摩、白根、身延、笛吹、日川、都留、都留興譲館(英理) </td> </tr> <tr> <td>評価対象学年</td> <td> <input type="radio"/> 第1学年から第3学年 26校 </td> </tr> </table>	評定	<input type="radio"/> 評定に傾斜を付ける学校 16校 北杜、韮崎、韮崎工業、甲府第一、甲府西、甲府南、甲府東、甲府工業、甲府城西、巨摩、白根、身延、笛吹、日川、都留、都留興譲館(英理)	評価対象学年	<input type="radio"/> 第1学年から第3学年 26校	各学校で、評価の対象とする学年を指定したり、各教科に傾斜を付けることができる。								
評定	<input type="radio"/> 評定に傾斜を付ける学校 16校 北杜、韮崎、韮崎工業、甲府第一、甲府西、甲府南、甲府東、甲府工業、甲府城西、巨摩、白根、身延、笛吹、日川、都留、都留興譲館(英理)													
評価対象学年	<input type="radio"/> 第1学年から第3学年 26校													

前期募集方法の年度比較

区分		令和3年度	令和2年度	備考
募集率	上げた高校	1校	1校	
	同じ高校	24校	23校	
	下げた高校	1校	1校	
面接	個別面接	22校	22校	増減なし
	集団面接	2校	2校	増減なし
	個別または集団	2校	2校	増減なし
	個別+集団	0校	0校	増減なし
特色適性検査	特色適性検査を課す学校	26校	26校	増減なし
特技	特技を課す学校	25校	25校	増減なし
個性表現	個性表現を課す学校	4校	4校	増減なし
選抜資料比重	調査書	最高60% 最低20%	最高60% 最低20%	
	面接	最高30% 最低5%	最高30% 最低5%	
	所見	最高10% 最低5%	最高10% 最低5%	
	特色適性検査	最高50% 最低5%	最高50% 最低5%	
	特技	最高40% 最低10%	最高40% 最低10%	
	個性表現	最高20% 最低15%	最高20% 最低15%	
調査書(学習の記録)の扱い				
評定	評定に傾斜を付ける学校	16校	15校	1増(笛吹)
評価対象学年	第1学年から第3学年	26校	26校	増減なし
	第3学年	0校	0校	

令和3年度山梨県公立高等学校入学者選抜における前期募集選抜方法等一覧

は昨年度からの変更箇所(公表時網掛けなし。)

番号	学校名	内容	募集率		選抜区分	出願の条件	募集割合等	面接		特色適性検査 時間[分]	特 技	個性表現	選 抜 資 料 比 重					調査書の「学習の記録」の取り扱い			
			学科	比率[%] [以内]				個別[分]	集団[分]				調査書	面接	所見	特色適性 検査	特技	個性表現	評定の傾斜倍率	対象学年	
																					調査書
1	北杜	普通科	30	普通科A	中学校の学習活動で優れた成績、入学後も継続して努力	前期募集人員の2/5程度	40程度	-	-	50	-	-	45	30	5	20	-	-	5教科の評定2倍	第1学年から第3学年	
				普通科B	スポーツ・文化活動で実績、入学後も継続して活動																
		総合学科	40	総合学科A	中学校の学習活動で優れた成績、入学後も継続して努力	前期募集人員の2/5程度	-	-	50	-	-	-	-	35	20	5	-	20			-
				総合学科B	スポーツ・文化活動で実績、入学後も継続して活動																
2	韭崎	普通科	30	普通科A	明確で高い目標を持ち、自らの進路実現のために努力	前期募集人員の40%程度	10程度	-	-	50	-	-	45	20	5	30	-	-	5教科の評定2倍 第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年	
				普通科B	体育活動で実績・活躍、入学後も学業と両立させ、同一部活動で活動																
		文理科	30	文理科	高い進路目標の実現を目指して努力																
3	荏碓工業	全学科	35	工業科A	学習に対する興味・関心	前期募集人員の2/5程度	15程度	-	-	50	-	-	50	30	5	15	-	-	第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年	
				工業科B	スポーツ・文化活動・ものづくりにおいて特技を有し、入学後も継続して活動																
				工業科C	スポーツ・文化活動・ものづくりに興味・関心が高く、入学後も継続して活動																
4	甲府第一	普通科	10	普通科	学習に意欲的に取り組み、スポーツ・芸術・文化活動で優秀な成績、入学後も本校の部活動に所属し継続的に活動	前期募集人員の2/5程度	10程度	-	-	60程度	-	-	40	10	5	15	30	-	第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年	
		探究科	25	探究科	発展的な学習にも意欲的に取り組み、社会の諸課題に目を向け、問題解決を図る																
5	甲府西	普通科	30	普通科A	学習活動において優れた成績を収めた者	前期募集人員の30%以内	15程度	-	-	30程度	-	-	45	20	5	30	-	-	第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年	
				普通科B	スポーツ・文化等での卓越した実績・能力、入学後も活動を継続・発展																
6	甲府南	普通科	10	普通科A	学習成績が優秀であるとともに、特に数学・理科の成績が優れている	前期募集人員の各50%程度	10程度	-	-	60程度	-	-	50	10	5	35	-	-	評定は数・理2倍、国・社・英1.5倍	第1学年から第3学年	
				普通科B	生徒会活動・部活動・ボランティア活動等で実績、入学後も活動																
		理数科	30	理数科A	学習成績が優秀であるとともに、特に数学・理科の成績が優れている	前期募集人員の各50%程度	10程度	-	-	90程度	-	-	-	40	20	5	15	20			-
				理数科B	生徒会活動・部活動・ボランティア活動等で実績、入学後も活動																
7	甲府東	普通科	10	普通科A(理数コース除く)	学力を有し、生徒会本部役員等リーダーシップを発揮し活動	前期募集人員の25%程度	15程度	-	-	70程度	-	-	30	30	5	35	-	-	5教科の評定1.5倍	第1学年から第3学年	
				普通科B(理数コース除く)	スポーツ・芸術で実績・能力、入学後も活動																
				理数コース	強い学習意欲、理数科目に興味・関心																
8	甲府工業	全学科	50	工業科A	学習成績良好、将来の目標、ものづくりに興味関心	前期募集人員の2/5程度	-	-	-	15程度	-	-	50	20	10	20	-	-	第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年	
				工業科B	学校指定のスポーツ・文化活動で実績があり、入学後も活動																
9	甲府城西	総合学科	40	総合学科A	学習を通じて将来の夢を実現するため努力	前期募集人員の3/4を上限	10程度	-	-	60	-	-	50	15	10	25	-	-	第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年	
				総合学科B	学校指定の部で継続して活動し、進学との両立を通じ、将来の夢を実現する																
10	甲府昭和	普通科	20	普通科A	中学校の学習活動で優れた成績、入学後も進路実現に向けて努力	前期募集人員の1/3程度	10程度	-	-	50	-	-	50	15	10	15	20	-	-	第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年
				普通科B	中学校の学業に励み部活動等で優れた成績、入学後も継続して努力																
11	農林	全学科	50	農業科A	学習成績・行動良好、自己の進路目標実現	前期募集人員の2/3程度	10程度	-	-	50	-	-	35	15	5	20	25	-	-	第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年
				農業科B	スポーツ・芸術文化活動に実績があり、入学後も積極的に活動																
12	巨摩	普通科	40	理数創造コース	理数科目や英語に興味・関心、国公立大学等への進学意志	前期募集人員の40%以内	10程度	-	-	50	-	-	50	10	10	30	-	-	5教科の評定2倍 第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年	
				普通科A	学習成績が優れており、大学進学意志を有する																
				普通科B	体育・文化活動で実績・活躍、入学後も継続																
13	白根	普通科	40	普通科A	将来の目標を持ち進路実現に向けて努力	前期募集人員の2/3程度	10程度	-	-	50	-	-	55	20	5	20	-	-	5教科の評定2倍 第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年	
				普通科B	学校が指定する部・生徒会役員で活躍、入学後も活動																
14	青洲	普通科	30	普通科A	学業成績が優良。進路実現に意欲。	前期募集人員の2/3程度	10~15程度	-	-	50	-	-	50	20	5	25	-	-	第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年	
				普通科B	学習に適應できる学力。体育・文化的活動、生徒会活動に実績。活動を継続。																
		工業科	40	工業科A	工業系の知識や技能修得に高い関心。進路実現に意欲	前期募集人員の2/3程度	10~15程度	-	-	50	-	-	-	30	20	5	15	30			-
				工業科B	学習に適應できる学力。体育・文化的活動、生徒会活動に実績。活動を継続																
商業科	40	商業科A	ビジネス活動系の知識や技術習得に高い関心。進路実現に意欲	前期募集人員の2/3程度	10~15程度	-	-	50	-	-	-	-	30	20	5	15	30	-			
		商業科B	学習に適應できる学力。体育・文化的活動、生徒会活動に実績。活動を継続																		
15	身延	総合学科	50	総合学科A	進学など自己の進路目標を持ち努力	前期募集人員の2/3程度	15程度	-	-	50	-	-	50	20	10	20	-	-	第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年	
				総合学科B	スポーツ活動・文化活動等で実力・能力																

令和3年度山梨県公立高等学校入学者選抜における前期募集選抜方法等一覧

は昨年度からの変更箇所(公表時網掛けなし。)

番号	学校名	内容	募集率		選抜区分	出願の条件	募集割合等	面接		特色適性検査	特技	個性表現	選抜資料比重					調査書の「学習の記録」の取り扱い		
			学科	比率[%] [以内]				個別[分]	集団[分]				調査書	面接	所見	特色適性検査	特技	個性表現	評定の傾斜倍率	対象学年
16	笛吹	普通科	30	普通科A	中学校での学習内容を確実に身につけ、学習活動に取り組む	10程度	—	60程度	—	—	—	—	50	20	5	25	—	5教科の評定2倍	第1学年から第3学年	
				普通科B	学習活動に真面目に取り組む、部活動等で実績・能力、入学後も両立して活動								40	15	5	25	15			
				普通科C	将来、地域産業に携わろうとする意思があり、意欲的に高校生活に取り組む								40	15	5	25	15			
		農業科 全学科	50	農業科A	中学校での学習内容を確実に身につけ、学習活動に取り組む	10程度	—	60程度	—	—	—	—	—	50	20	5	25	—		第1学年:第2学年:第3学年=1:2:3
				農業科B	学習活動に真面目に取り組む、部活動等で実績・能力、入学後も両立して活動									40	15	5	25	15		
				農業科C	将来、地域産業に携わろうとする意思があり、意欲的に高校生活に取り組む									40	15	5	25	15		
		総合学科	50	総合学科A	中学校での学習内容を確実に身につけ、学習活動に取り組む	10程度	—	60程度	—	—	—	—	—	50	20	5	25	—		第1学年:第2学年:第3学年=1:2:3
				総合学科B	学習活動に真面目に取り組む、部活動等で実績・能力、入学後も両立して活動									40	15	5	25	15		
				総合学科C	将来、地域産業に携わろうとする意思があり、意欲的に高校生活に取り組む									40	15	5	25	15		
17	日川	普通科	35	普通科A	学習に興味・関心、目標に向かって強い意欲	15程度	—	50	—	—	—	—	50	15	5	30	—	第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2		
				普通科B	体育的、文化的、生徒会活動で能力・実績、入学後も活動								30	15	5	10	40			
18	山梨	普通科	30	普通科A	向学心旺盛、外国文化または自然科学に興味・関心	10程度	—	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第1学年から第3学年	
				普通科B	部活動、生徒会・学級役員等、資格・検定試験等で成果															60
19	塩山	普通科	30	普通科A	学習に対する興味・関心	10程度	—	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第1学年から第3学年	
				普通科B	体育・文化の部活動で実績・実力、入学後も活動															40
		商業科 全学科	30	商業科A	学習に対する興味・関心	10程度	—	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
				商業科B	体育・文化の部活動で実績・実力、入学後も活動															40
20	都留	普通科	20	普通科A	学習成績優秀、高いレベルでの上級学校進学を目指す	10程度	—	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5教科の評定2倍	
				普通科B	学習成績優良、体育的活動・文化的活動・生徒会活動で実績・実力															60
21	上野原	総合学科	20	総合学科A	学習・学級活動・生徒会活動等の取り組み	10程度	—	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第1学年から第3学年	
				総合学科B	部活動・地域における諸活動・習い事等を入学後も継続を生かす															50
22	都留興譲館	普通科	30	普通科A	中学校での学習内容を身につけ、大学等進学意欲、真面目に学習活動	10程度	—	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第1学年から第3学年	
				普通科B	体育・文化活動等で実績、入学後も活動、大学等進学目指し真面目に学習活動															50
		英語理数科	30	英語理数科A	中学校での学習内容を十分身につけ、大学進学意欲、真面目に学習活動	10程度	—	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
				英語理数科B	体育・文化活動等で実績、入学後も活動、大学進学意欲、真面目に学習活動															50
		工業科 全学科	35	工業科A	中学校での学習内容を身につけ、工業系スペシャリスト目標、工業系大学等進学や就職に意欲	10程度	—	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		—
				工業科B	体育・文化活動等で実績、入学後も活動、工業系スペシャリスト目標に努力															
23	吉田	普通科	20	普通科A	学習成績優秀、学校行事・生徒会活動・ボランティア活動に参加	10程度	—	60	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第1学年から第3学年	
				普通科B	学習成績優良、体育活動・文化活動で実績															40
		理数科	15	理数科	学習成績優秀、知的探究心、理数教科に関心、学校行事等に参加	30	20	5	15	30										
24	富士北枝	総合学科	35	総合学科A	学習活動を重点に中学校生活	10程度	—	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第1学年から第3学年	
				総合学科B	特別活動・校外活動を重点に中学校生活、経験・成果を活かす															60
25	富士河口湖	普通科	30	普通科A	学習成績に優れ、生徒会活動等諸活動に取り組む。進路実現を目指し努力	10程度	—	50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第1学年から第3学年	
				普通科B	中学校での学習を身につけ、部活動等で実績・能力、入学後も活動															50
26	甲府商業	全学科	50	商業科A	学習や資格取得に意欲	10程度	—	60	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	第1学年から第3学年	
				商業科B	学校が指定する種目での体育活動で能力、入学後も活動															55
												表現・発表(5分以内)	45	20	5	—	15	15		

注1) 面接の「集団」欄の()書きは、志願者数により集団面接に変更した場合の時間です。
 注2) 「出願の条件」の具体的な内容は、冊子の該当ページで確認してください。
 注3) 「特色適性検査」の特記事項は、冊子の該当ページで確認してください。
 注4) 調査書の「学習の記録」の取り扱い欄に記載のない高校は、教科及び学年で傾斜をかせません。

【普通科のコース指定について】
 北社高校の理数コース、巨摩高校の理数創造コース及び塩山高校の英数コースのコースへの指定は、まず普通科の合格者を決定した後、コースを希望する者を対象として、得点の上位順に指定します。
 甲府東高校の理数コースでは、普通科とは別枠でコース希望者を選抜します。

学校名	コース	調査書	面接	所見	特色適性検査	特技	個性表現	評定の傾斜倍率	対象学年	
北社	理数コースA	45	30	5	20	—	—	5教科の評定2倍	第1学年から第3学年	
	理数コースB	35	20	5	—	20	20			
甲府東	理数コース	40	20	5	35	—	—	数・理・英の評定2倍 第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年	
巨摩	理数創造コース	50	10	10	30	—	—	5教科の評定2倍 第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年	
白根	文理コース	普通科の合格発表後に希望をとり、学校が別に実施する学力検査等により指定する。								
山梨	英理総合コース	普通科の合格発表後に希望をとり、学校が別に実施する学力検査等により指定する。								
塩山	英数コースA	40	20	10	30	—	—	5教科の評定2倍 第1学年:第2学年:第3学年=1:1:2	第1学年から第3学年	
	英数コースB	30	20	10	20	20	—			

